

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・大学の国際人材研修制度を利用する企業に対する商工会議所と連携した支援(海外戦略推進事業)や、大分大学が医学部に開設した臨床医工学センターの立ち上げに対する産業界と連携した支援(東九州メディカルバレー構想拠点機能強化事業)など、産学官連携により様々な分野の課題解決に向けた取り組みを推進した。
②	・看護科学大学では、県内初の養護教諭(1種)養成課程を開設するとともに、「看護師の特定行為研修」の指定研修機関として指定を受け、H28年度入学生から大学院の定員を拡大した。文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択された看護学生による予防的家庭訪問実習をカリキュラムに取り入れ全学的に実施した。
③	・芸術文化短期大学では、情報コミュニケーション学科における3コース制の導入など、魅力あるカリキュラムへの再編を推進するとともに、専門性の高い長期公開講座の拡充、芸術文化ゾーンと連携した音楽科定期演奏会や芸術科卒業制作展の開催、地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会の実施など、社会貢献活動に取り組んだ。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	海外戦略推進事業	48,175	A	継続・見直し	19
	東九州メディカルバレー構想拠点機能強化事業	16,709	A	継続・見直し	101
②	公立大学法人運営費交付金(看護科学大学)	598,642	A	継続・見直し	69
③	公立大学法人運営費交付金(芸術文化短期大学)	456,094	A	継続・見直し	25

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第3回大分県新長期総合計画策定県民会議(H27.9)</p> <p>・県内大学にはない専門性を持った大学の施設やサテライト設置の誘致にも取り組んで欲しい。</p> <p>・都会には自己研鑽、大人が学べる機会がある。大分も県内大学がそういった学習の場、同世代が交流できる場を作れないものか。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・教育、産業、福祉、医療など様々な分野の地域課題解決に向け、県内外の大学との連携を推進する。</p> <p>・看護科学大学では、教育研究における環境の整備、公開講座や地(知)の拠点整備事業などを通じた地域貢献の推進、大学院における保健師、助産師、NP(診療看護師)教育の充実や特定行為研修など医療の高度化などにより、特色ある大学づくりを推進する。</p> <p>・芸術文化短期大学では、社会ニーズに応じたカリキュラムへの再編など教育機能の充実強化、地域貢献活動や芸術文化ゾーンとの連携、機能充実のための施設整備を行うことにより、魅力ある大学づくりを推進する。</p>